

第2回海洋開発委員会 幹事会 議事録（案）

日時 2008年10月24日（金）12:00～13:00

会場 土木学会 F会議室

出席者：高橋委員長，五明委員，木村委員，柵瀬委員，水谷委員，矢内委員，伊藤幹事，加藤幹事，鈴木幹事，武田幹事，森屋幹事，関本

配布資料：

- (1)マリーンシャトル
- (2)特別セッション：島嶼・離島水域の保全・開発・資源利用（仮題）
- (3)座長企画型セッション（案）について

1. 委員長あいさつ

本日は、海洋開発特別講演会があり短時間での会合となるので効率よく議論を進めていただきたい旨挨拶があった。

2. 前回議事録の確認

議事録はすでにメールにて送付しているので指摘等があれば幹事長まで連絡することとなった。

3. 懇親会について

懇親会の候補として、マリーンシャトルのオープンデッキを貸し切った開催の提案があった。屋形船との案もあるので調整して欲しい旨意見があった。

4. 特別セッションについて

(1) 島嶼・離島水域の保全・開発・資源利用

配布資料(2)に基づき離島にかかわるテーマについて特別セッションを開催する旨提案があった。このテーマで特別セッションを持つことを検討することとなった。東海大学の山田教授を座長候補として検討する。

(2) 海洋エネルギー

2年目も経塚先生を中心とした特別セッションを海洋開発とのかかわり、土木に関わる部分の議論、を踏まえて提案したい旨報告があった。同じ話を何回も聞くようになってきたので、他分野の方の話や環境影響など一歩踏み込んだ議論が必要である。通産省の動向など国内でのプロジェクト化なども興味深いのではないかといった意見が出された。

(3) 特別講演会

特別講演会の準備についてはこれから対応する。

5. 座長企画型セッション

配布資料(3)に基づいて海洋技術国際賞（仮称）を睨んだ国際セッションの開催目指す旨説明がなされた。論文の位置づけとしては過去に投稿されたものを再生産するようなことにならないように注

意が必要である旨の意見が出された。

アセットマネジメント研究小委員会も座長企画型セッションを計画する旨報告があった。

6. 第 35 回海洋開発シンポジウムの開催地について

鹿児島で開催候補地とすることが提案され了承された。鹿児島大学への打診は矢内委員が担当することとなった。

7. その他

(1) 学会事務について

土木学会事務局より、事務局の支援範囲について見直しに協力して欲しい旨連絡があったことが報告された。今後岩西さんへのコピーの依頼は極力避けるようにすることとした。なお、学会のコピー機を利用して各自がコピーすることは可能である。

(2) テクノオーシャンネットワークニュースについて

木村委員に特別講演会について執筆いただくこととなった。

7. 次回幹事会

別途日程を調整する。